

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和7年度第2回高松市学校給食運営委員会
開 催 日 時	令和7年10月8日(水) 10時00分～11時10分
開 催 場 所	朝日新町学校給食センター 2階会議室
議 題	今後の学校給食費について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	渡邊委員、垣内委員、安岡委員、宮脇委員、住吉委員、久保委員、木田委員
傍 聴 者	3人(定員10人)
担当課及び 連絡先	保健体育課朝日新町学校給食センター 087-811-6300

会議の経過及び結果

1 開会

2 挨拶

3 議題

(1) 今後の学校給食費について

事務局から、資料2の説明

意見交換

(委員)

値上げの具体的な上げ幅が出てきた。また、公費負担は4つの案が出てきた。

(委員)

値上げ後の額について、9月以降の平均額がベースであれば、さらにアップ率をかけなくても十分高いのではないかと。

(委員)

前回用いた伸び率、1.8%は結果としてどうだったのか。

(事務局)

令和6年度から値上げをしたが、物価高騰が続き、7年度当初から献立作成に苦慮する状況に陥ったため、6月議会で食材費予算を補正し、更なる公費負担を行っている。

こうした現状を踏まえると、前回同様の改定方法では心許なく、今回提示の算出方法とした。

(委員)

同程度の都市で見ると似た水準。県内では高松市が目立つが、これは、調理場の老朽化など物理的な制約もあり、こうした要素が他市に比べ強く出ていることの表れだろう。

改定後の額、算出方法について違和感はない。

(委員)

保護者の立場からすると、物価高騰は給食費に限らず、あらゆるところに影響している。

その中で、学校給食における公費負担をどう出していくかだが、希望としては、できる限り抑えてほしい。どこまで負担を求めると許容されるかについては、分かりやすい説明が必要。

(委員)

案1<値上げ部分は全額保護者負担>に関しては、理解を得るのは難しいだろう。

一般に、令和6年度の値上げ分を公費負担してもらっている認識が薄いので、一気に上げられた感があり、受け入れられないだろう。保護者としては、案4<値上げ部分は全額公費負担>が望ましいが、市の財政負担も厳しいと思うので、案3<値上げ部分は市と保護者で折半>ぐらいがいいのではないかと。複数の子どもがいると、負担は大きい。

(委員)

他県の類似都市の状況を踏まえると、案3が妥当ではないか。これまでの公費負担のPRも含め、保護者への周知方法はよく検討してほしい。

(委員)

色々な保護者に話を聞いたが、現在の公費負担は10人中10人が知らなかった。

案4になると、公費をかなり使うと思うが、予算を確保できるのか。できるなら実施してほしいと思うが、市として対応可能な案なのか。

(委員)

市の負担はどれぐらいになる見込みか。

(事務局)

国による給食無償化の議論も進められていると聞いており、具体的な本市の負担額は、現段階ではお示しできない。ただし、お示している4案は、いずれも本市として実現可能であると考えているから提案している。

(委員)

現実的な対応としては、現在の保護者負担について知ってもらう意味でも、案2<保護者負担を令和6年度に改定した現行額まで引き上げる>が分かりやすいのではないかと。

(委員)

この場で1つの案に絞り込むのか。優先順位としては、案4→3→2→1と、できるだけ値上げ幅を抑えていただきたいと考える。案4が難しいとなれば、「折半」と説明できる案3が分かりやすいのではないかと。

(委員)

案1は現実的ではない。案4が最も望ましく、市の財政を考慮する場合は案2か案3となるが、それぞれに分かりやすさ、分かりにくさがある。分かりやすく線引きするなら案2。より保護者負担を抑えるなら案3。

(事務局)

皆様の貴重な御意見を踏まえ、令和8年度における学校給食費について、市としての方向性を決定してまいりたい。